

よい先生の条件とは

開倫塾
塾長 林 明夫

4月12日(火)12:20～12:30に足利市研修センターで、開倫塾入社式後に収録した内容です。

1. 子どもが好きであること
この子をどうにかしてあげようという熱い気持ち、情熱・熱情をもつこと
2. 研究熱心であること、先生として教えるべき内容を学び続けること
 - (1) レッスンプランに基づいた授業をすること
 - (2) 授業ごとに授業を設計して、レッスンプランを書き続けること
 - (3) 省察(リフレクション)の内容をレッスンプランに書き込むこと
 - (4) 「レッスンプランは先生としての成長の記録」、毎年1回は見直すこと
3. 声大きいこと
 - (1) いくら優秀でも、授業をしている声が小さいと児童、生徒、塾生には伝わらない
 - (2) 教え方を身に着けることが大事
4. 使命感をもつこと、「教育とは何か」を考えること
 - (1) 「教育」とは「教え、育(はぐく)む」こと
 - (2) 「学力」とは「学ぶ力」、「主体的に学ぶ力」
 - (3) 「主体的に学ぶ力」を子どもたちに身に着けさせ、「よく生きる」ことをサポートするのが先生の役割
 - (4) 「よく生きる」とは、学力を身に着けて、選択肢が1つだけではない、できれば「多様な選択肢」のある人生を歩むこと
 - (5) 「学力、つまり主体的に学ぶ力が身に着いた人」を育てることは、「地域の教育力の向上」、「正常に機能する社会」・「持続可能な社会」の形成に役立つ。社会にお役に立つ大事な仕事
5. 先生こそ「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)を
 - (1) 「教育ある人とは一生勉強し続ける人」
 - (2) 但し、健康第一。身体健康と同時に心の健康も大切に
 - (3) 新聞を読んで世の中のことを知ること、古典を読んで時空を超えた対話をし、子どもたちとともに人生を考えること

以上